

## 新学習指導要領全面実施に向けた、授業改善を目指す校内研究「一人一授業」

越前市白山小学校

### 1. はじめに

平成 32 年度より全面実施される新学習指導要領の大きな柱は「主体的・対話的で深い学び」である。そこで、本校の研究テーマを「伝え合い学び合う児童の育成 主体的・対話的で深い学びをめざして」とした。この研究テーマの下、授業改善を目指した校内研究として、算数において担任全員が「一人一授業」に取り組んでいくことにした。

なお、教科を算数としたのは、教員が算数の授業研究をして学んだことが他の教科の指導に生かしやすい、また、算数は学年が違っても学習内容につながりがあり他学年の研究授業を参観して自分の算数指導に応用することができると思ったからである。

### 2. 取り組みの概要

(1) 校内研究の流れ どのような手順で研究を進めていくか、以下のようにした。

#### ① 個人の研究テーマについて

本校の研究テーマの下、算数授業の指導の工夫をどう取り組んでいきたいのか、決めた。

	算数授業の指導の工夫
1年担任	① 大事なポイントを見つげさせ言わせる部分と教師から提示する部分とをしっかりと見極め、児童に考えさせるポイントをつくる。 ② 話型を提示し、児童が算数用語を使いながら説明できるようにしていく。
2年担任	① めあてを提示するタイミングは、その授業の展開に合わせ、めあてを意識して主体的に学習すると共に、授業の最後にふりかえりを行う。 ② 自分の考えを発表しやすいように、隣同士、グループ、全体など、いろいろな話し合いの場面を設定する。
3年担任	① 大事なポイントを教師が言わずに、子どもに気づかせて言わせる。 ② 算数用語を使って説明する場を設定し、説明できるようにしていく。
4年担任	① 子どもが考えたくなるめあての設定をする。 ② 算数用語を活用しての振り返りをする。
5年担任	① 児童が算数用語を使う場面を意識して作る。 ② ペア・グループ活動を設定し、話し合い型を教え、深め合う話し合いになるようにする。
6年担任	① 授業の始まりで、めあてをすぐに書かせず、必要性を感じさせてからめあてを言わせることで、主体的に考えさせる。 ② 大事なポイントを教師が言ってしまう前に、子どもに見つけさせ言わせる。

#### ② 事前研究会について

本校は全学年1クラスで低学年・中学年・高学年2人ずつで、研究授業をする前に「授業のねらい」「ねらいを達成するための手立て」など検討する事前研究会を必ず持つことにした。

#### ③ 「一人一授業」の参観について

研究授業の参観は、事前研究会に出た教員は必ず45分参観し、事前研究会に出ていない教員は少なくとも 10 分程度は必ず参観することとした。また、校長、教頭、教務主任(兼研究主任)は必ず参観することとした。

参観の際、参観者が感想等を書き、授業をした教員に渡す参観シートを作った。このシートの項目は、授業を参観する際のポイントを項目にした。

授業参観シート		氏名
月 日 ( )		校時
		学年 年
		教科 算数
※ 気づいたことがあれば、書いてください。		
1	めあての明示	
2	学び合い	
3	ICTの活用	
4	板書	
5	振り返り	
感想		

④ 事後研究会について

研究授業が行われたその日の放課後に事後研究会を持つこととした。事後研究会には、授業者と低中高学年のもう1人の教員、そして校長、教頭、教務主任が参加することとした。事後研究会では、指導の工夫が効果的だったか、授業改善をめざした話し合いを行うこととした。

⑤ 校内研究通信について

研究授業について教員全員にフィードバックしていくために、事後研究会と授業参観シートを教務主任がまとめ、校内研究通信を出すことにした。この通信を見れば、どのような授業が行われ、どう指導の工夫がされたかが分かるようにすることにした。

(2)「一人一授業」

研究通信 No.3 より

白山小 校内研究通信 主体的・対話的で深い学びをめざして No.3 2018年12月4日(火)発行  
一人一授業 2年算数 「三角形と四角形」 12月4日(火) 2校時

**授業の流れ**

本時の学習課題をつかむ



個人で考える



ペアで説明し合う

ペアや3人で自分の答えとそのわけを言い合いました。  
(この場面、写真を撮っていませんでした。すみません。)

まとめる







**新学習指導要領** 言語力の育成・活用の重視  
新設の数学的活動 「言葉、式、表を用いて考え、説明する活動」

- めあての明示**
  - ・復習を簡単に済ませてから黄色の字で表記していて、見やすかったです。
  - ・前時の振り返りから、スムーズに提示ができていたと思います。
- 学び合い**
  - ・ペアで話し合い、発表時にも活発な意見が多くてよかったです。
  - ・時間を3分と決めて、だらだらせずによかったです。
- ICTの活用**
  - ・最初に提示した図形がずっと見える状態によかったです。
  - ・黒板の真ん中に写されていて、とても見やすかったです。
- 板書**
  - ・わかりやすかった。・比例のポイントなどを書いてよかったです。

感想・低学年の算数の難しさを感じ、とても勉強になりました。改めて算数にも語彙力（国語の方）が大切だと感じました。

- ・とても積極的に発表していた。ヒントカードでわけを書くことができた児童もいたので、ていねいな支援、準備が大事だと感じました。
- ・「直線で囲まれている」ということが意外に2年生にとって難しいのだと改めて思いました。だからこそ、今日の授業が生きてくと感じました。
- ・子どもの間違いを上手に取り上げ、全員のやる気を大事にした授業でした。

### 3. 終わりに

新学習指導要領全面実施に向けた校内研究「一人一授業」をしていく中で、本校の研究テーマ「伝え合い学び合う児童の育成 主体的・対話的で深い学びをめざして」の下、子どもたちが主体的に話し合い対話的に学ぶ授業の一つの型が見えてきた。

#### 授業の型

- ① 本時の学習課題をつかむ
- ② 個人で考える
- ③ ペアで話し合う
- ④ 全体場で発表する
- ⑤ まとめる・振り返る

本校の児童には「自分の考えを説明する」など表現力についての課題が見られたが、ペアで話し合ったり全体場で発表したりする場面では生き生きと活動する姿が多く見られ、児童の表現力が少しずつ向上してきている。また、算数に絞ったことによって、それぞれの「一人一授業」での成果が次の「一人一授業」に生かされてくというように、「一人一授業」同士がつながっている校内研究ができ、授業改善を進めることができた。来年度も、新学習指導要領全面実施に向けて、今年度の校内研究スタイルを続けて、授業改善に邁進していくようにしたい。